

nord grand

ユーザー・マニュアル

Nord Grand
日本語版

OSバージョン:1.06

はじめに



安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはならないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれます。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれます。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください



この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続する。アース接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから取り外してから行う。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショート恐れがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。
- 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
- 大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
- 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
- 雨天時の野外のように、湿気が多い場所や水滴のかかる場所で使用や保管はしない。
- 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。



この注意事項を無視した取り扱いをすると、危害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。
- 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。
- 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしていない。
- 本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
- 故障の原因になります。
- 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。
- 不安定な場所に置かない。本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 本製品の隙間に指などを入れない。お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 地震時は本製品に近づかない。
- 本製品に前後方向から無理な力を加えない。本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。データを他のメディア等へセーブすることのできる製品では、大切なデータはこまめにセーブすることをお勧めします。

目次

1 はじめに	5	ソフト・ペダル	12
ありがとうございます!	5	TIMBRE	12
主な特徴	5	アコースティック・ピアノの設定	12
NORDウェブサイトについて	5	エレクトリック・ピアノの設定	12
このマニュアルについて	5		
ファクトリー・プリセットに戻す	5	5 サンプル・シンセ	13
OSアップグレード	5	オン/オフの切り替えとレベルの選択	13
サウンド	5	OCTAVE UP/DOWN	13
商標について	5	PEDALS	13
		サンプル・シンセについて	13
2 概要	6	サンプルを選択する	13
Nord Grandのパネル	6	リスト機能	13
マスター・セクション	6	サウンドを形成する	13
ピアノ・セクション- 10ページ	6	DYNAMICS	13
サンプル・シンセ・セクション- 13ページ	6	AMP	13
プログラム・セクション- 14ページ	6	FILTER	13
エフェクト・セクション- 17ページ	6	[ATTACK], [SUSTAIN], [DECAY/RELEASE]	13
3 使い始める	7	6 プログラム	14
接続する	7	TRANSPOSE ON/SET	14
パネル・コントロール	7	MONO	14
ダイヤルとノブ	7	KBD SPLIT	14
ボタン	7	キーボード・スプリットの設定	14
[SHIFT]ボタン	7	スプリット・ポジションを選択する	14
MASTER LEVEL	7	スプリット幅の設定	14
PANEL LOCK	7	保存する ([STORE])	14
ディスプレイ上のボタン	7	プログラムを保存する	14
プログラム	7	プログラムに名前を付ける ([STORE AS..])	15
プログラムを選択する	8	[SHIFT]/[EXIT]ボタン	15
リスト・ビュー	8	LIVE MODE	15
プログラムをエディットする	8	[PROGRAM]ボタン	15
別のピアノ・サウンドを選ぶ	8	プログラムとは?	15
メモリー・プロテクトをオフにする	8	[PROGRAM]ダイヤル	15
プログラムを保存する	8	プログラムリストの[Abc]と[Cat]	15
ライブ・モード	9	数字パッドによるナビゲーション・モード	15
エフェクトをオンにする	9	PANEL LOCK	16
サンプル・シンセを含むレイヤー	9	ORGANIZE	16
スプリットを作成する	9	[ORGANIZE]ビューを開く	16
スプリット・クロスフェード (スプリット幅) を設定する	9	2つのプログラムを切り替える	16
パネル・ロックをオンにする	9	プログラムを移動する	16
		MIDI LEDインジケータ	16
		PANIC	16
4 ピアノ	10	7 エフェクト	17
オン/オフの切り替えとレベルの選択	10	エフェクトをオンにする	17
OCTAVE UP/DOWN	10	EFFECT1	17
[SUSTAIN]と[VOLUME]	10	TREM (トレモロ)	17
ピアノ・サウンドについて	10	PAN (オート・パン)	17
ピアノ・サイズについて	10	RM (リング・モジュレーション)	17
ピアノ・インフォ	10	CTRL PED (コントロール・ペダル)	17
PIANO SELECT	10	EFFECT2	18
タイプとモデル	10	PHAS 1 & 2 (フェイザー)	18
リスト・ビュー	11	FLANG (フランジャー)	18
[STRING RES]と[SOFT RELEASE]	11	CHOR 1&2 (コーラス)	18
ストリング・レゾナンス	11	VIBE (ヴァイブ)	18
ソフト・リリース	11	DEEP	18
Nord Triple Pedal	11	DELAY	18
ペダル・ノイズ	11	EQUALIZER	18
ハーフ・ペダリング	12		
ソステヌート	12		

AMP/COMP	18		
アンプ・モデル	18		
DIST (ディストーション)	19		
COMP (コンプレッサー)	19		
REVERB	19		
8 MIDI	20	II 付録：MIDI コントローラー・リスト	25
MIDI機能	20		
MIDIチャンネル	20		
本機での演奏をMIDIシーケンサーやDAWにレコーディングする	20		
MIDIメッセージ	20		
ノート・オン/オフ	20		
コントローラー	20		
プログラム・チェンジ	20		
ローカル・コントロールのオン/オフ	20		
PANIC	20		
9 NORD SOUND MANAGER	21	III 索引	26
NORD SOUND MANAGERについて	21		
動作環境	21		
10 メニュー	22	仕様：NORD GRAND	27
SYSTEM MENU	22		
1 - MEMORY PROTECT	22		
2 - NUMPAD PROGRAM SELECT	22		
3 - GLOBAL TRANSPOSE	22		
4 - FINE TUNE	22		
5 - OUTPUT ROUTING MODE	22		
6 - SUSTAIN PEDAL TYPE	22		
7 - CONTROL PEDAL	22		
TYPE	22		
GAIN	22		
8 - VERSION AND MODEL INFO	22		
SOUND MENU	22		
1 - PIANO PEDAL NOISE LEVEL	22		
2 - PIANO STRING RES LEVEL	22		
MIDI MENU	23		
1 - LOCAL CONTROL	23		
2 - MIDI CHANNEL	23		
3 - MIDI CONTROL/PROGRAM CHANGE	23		
MIDI CONTROL CHANGE	23		
MIDI PROGRAM CHANGE	23		
4 - TRANSPOSE MIDI AT	23		
11 接続について	24		
オーディオの接続	24		
HEADPHONES	24		
LEFT OUT, RIGHT OUT	24		
MONITOR IN	24		
MIDIの接続	24		
MIDI IN	24		
MIDI OUT	24		
USB接続	24		
ペダル接続	24		
SUSTAIN PEDAL	24		
VOL/CTRL PEDAL	24		
Nord Piano Monitor	24		

1 はじめに

ありがとうございます！

Nord Grand をお買い上げいただきありがとうございます。Nord Grand は、Nord の伝統といえる洗練されたユーザー・インターフェイスを備えたステージピアノです。

高品位のグランド・ハンマー・アクション鍵盤は、すべての鍵盤に3点のセンサーを搭載し、鍵盤を撫でるようなやわらかなタッチから、情熱的なアクセントを刻む強いタッチまで、演奏者が自在にコントロールできるよう設計されています。無料で利用できる Nord Piano Library には、綿密にサンプリングされたピアノとキーボードのサウンドが多数揃っており、それらを Nord Grand 本体に自由に入れ替えることができます。このライブラリーには今後もサウンドを追加する予定ですので、Nord Grand は未永くお使いいただける楽器です。

主な特徴

Nord Grand には次のような主な特徴があります。

- グランド・ピアノ、アップライト・ピアノ、エレクトリック・ピアノ、クラビネットやハーブシコードなどのサウンドに加え、レイヤーを組み合わせることで豊かな音色を作り出せるデジタル・カテゴリーを搭載したピアノ・セクション。ピアノ・セクションのメモリー容量は 2GB。
- トリプル・センサーとアイボリータッチ鍵盤を搭載した 88 鍵 グランド・ハンマー・アクション鍵盤。
- 512MB のサンプル・メモリーを搭載し、直感的な操作が可能なエンベロープ・コントロールとダイナミック・コントロールを備えたサンプル・シンセ・セクション。
- 幅広く、自由度の高い音作りをサポートするエフェクト・セクション。
- プログラムを切り替えてもサウンドが途切れないシームレスな切り替え（シームレス・トランジション）。
- スプリット幅の調節もできるキーボード・スプリット機能により、スプリット・ポイントでサウンドのスムーズなクロスフェードを設定可能。

NORD ウェブサイトについて

Nord ウェブサイト (<http://www.nordkeyboards.jp>、nordkeyboards.com (英文)) では、以下をご利用いただけます。

- » Nord Grand やその他の Nord 製品に関する情報
- » 最新 OS バージョンのダウンロード
- » Nord Sound Manager や Nord Sample Editor などのフリー・ソフトウェアのダウンロード
- » Nord Piano Library サウンドの無償ダウンロード
- » Nord Sample Library サウンドの無償ダウンロード
- » 新たに追加されたサウンドやソフトウェア、OS リリースなどの最新情報を提供する Nord ニュースレター
- » Nord に関するニュースや動画を配信する Nord World
- » ユーザー・マニュアルのダウンロード
- » nordkeyboards.com/tutorials からチュートリアルを閲覧可能

ぜひ、Facebook、Instagram、Twitter、YouTube で Nord Keyboards をフォローしてください。SNS の投稿には、Nord 公式ハッシュタグ #iseenord をお気軽にご利用ください。

このマニュアルについて

本マニュアルは、本機で使用できるすべての機能を詳しく説明するリファレンス・ガイドとして制作しました。また、実際にこれらの機能を使用する際の実例もご紹介しています。

ファクトリー・プリセットに戻す

工場出荷時のプログラム、サンプル、ピアノのデータは Nord Sound Manager のバックアップ・ファイル形式で Nord ウェブサイトからダウンロードできます。また、任意の時点の状態に戻す必要がある場合に備えて、インストゥルメント全体およびそのインストゥルメントの工場出荷時の状態をバックアップしたのもをご用意しています。

OS アップグレード

Nord Grand の最新 OS バージョンは、Nord ウェブサイトからいつでもダウンロードできます。Nord ウェブサイトに定期的にアクセスするか、Nord ニュースレターに登録して最新情報をチェックしてください。

サウンド

Nord Grand では、すべてのピアノやサンプルを入れ替えることができます。入れ替え作業は、Nord ウェブサイトから無償でダウンロードできる Nord Sound Manager アプリケーションを使用して行います。また、Nord Grand は次々と新たなサウンドが追加されている Nord Piano Library や Nord Sample Library と互換性があります。追加されたサウンドは、随時、Nord ウェブサイトのサウンド・ライブラリー・セクションから無償でダウンロードできます。

商標について

本マニュアルに記載のあらゆる商標やブランド名はそれぞれの所有者が保有する商標であり、Clavia との一切の関係はありません。また、それらの商標やブランド名は本機の機能やサウンドを説明するためにのみ使用しています。

2 概要



⋮ マスター ⋮ ピアノ ⋮ サンプル・シンセ ⋮ プログラム ⋮ エフェクト

NORD GRAND のパネル

Nord Grand のフロント・パネルには、関連するすべての機能とコントロールが各セクションにグループ化されて配置されています。ここでは、左から順に簡単にご紹介します。

マスター・セクション

パネルの左端には、全体のボリューム・レベルを制御するマスター・レベル・コントロールと、演奏中にパネル・コントロールの誤操作を防ぐためのパネル・ロック機能があります。この機能について詳しくは、16 ページをご参照ください。

ピアノ・セクション – 10 ページ

Nord Grand では、今後も増え続ける Nord Piano Library のサウンドを利用できるほか、グランド・ピアノ、アップライト・ピアノ、エレクトリック・ピアノ、さらにはデジタル・ピアノやレイヤー・サウンドなど、幅広いピアノ・サウンドとキーボード・サウンドがプリセットされています。Nord Piano Library の最新のサウンドは定期的に Nord ウェブサイト (<http://www.nordkeyboards.jp>) にアップロードされ、無償でダウンロードできます。

ピアノ・セクションのパネル・コントロールには、高度なストリング・レゾナンス機能（アコースティック・ピアノ用）をオンにしたり、キーボード・ペロシティ・レスポンスを調節したり、専用の音色設定を使用してピアノ・サウンドの特性を素早く変化させたりするためのボタンがあります。付属の Nord Triple Pedal を接続すると、機械式のダンパー・ペダルの音を再現するダイナミック・ペダル・ノイズ機能を使用できます。また、Triple Pedal を使用すると、ハーフ・ペダリング奏法が可能になるほか、ウナ・コルダやソステヌート・ペダルを使って豊かな演奏を行えるようになります。

サンプル・シンセ・セクション – 13 ページ

Nord Grand を購入すると、Mellotron や Chamberlin などの有名なビンテージ・サウンドを含み、世界有数のサウンドを誇る膨大な無償のライブラリー、Nord Sample Library 3.0 を利用できます。Nord Grand には多くのサンプルがプリセットされています。サンプル・シンセ・セクションでは、これらのサンプルをブラウズしたりロードしたりすることができます。このパネルから、サンプルの特性やレスポンスを調節するための多くの機能に直接アクセスできます。

プログラム・セクション – 14 ページ

Nord Grand のプログラムには、ピアノ・セクションとサンプル・シンセ・セクション両方の設定に加え、スプリット構成またはトランスポーズ構成と各種エフェクトの設定が含まれています。Nord Grand の中央にあるプログラム・セクションでは、プログラムの呼び出しや保存のほか、様々な演奏機能や設定メニューを操作できます。このセクションには大型の有機 EL (OLED) ディスプレイがあり、選択したピアノ・サウンドやサンプル・サウンドの名前などが表示されます。

エフェクト・セクション – 17 ページ

エフェクト・セクションでは、幅広いエフェクトを簡単にアサインできます。エフェクト 1 およびエフェクト 2 ユニットには、伝説的なコンバクト・エフェクターやエフェクト・ユニットをモデルにしたトレモロ、コーラス、フェイザーなどの主要なモジュレーション・エフェクトが用意されています。ディレイ・エフェクトは、微妙なアンビエンスやスラップバック・エフェクト、さらには限りないサウンドスケープまで、あらゆるエフェクトに使用できます。

アンプ/コンプレッサー・セクションには、クラシックなアンプ・シミュレーション、チューブ・スタイルのオーバードライブ、力強いコンプレッサーなどのエフェクトが用意されています。中心周波数可変タイプのミッド・レンジを備えた多用途なイコライザーは、Nord Grand のあらゆるサウンド・エンジンに適用できます。

そして最後に、豊かなリバーブは、オプションで [BRIGHT] モードも選択でき、狭い部屋や広いホールなど、様々な空間の響きを瞬時にシミュレートできます。

3 使い始める

ここから Nord Grand の最も基本的な機能についてご紹介し、一般的なタスクとシナリオの一部を順を追って説明します。

接続する

- ① 電源コードを本機に接続し、コンセントに接続します。それからサスティン・ペダルやヘッドフォン、またはアンプ、ミキサーなどのオーディオ機器に接続します。
- ② 本機の電源を入れてから、オーディオ機器の電源を入れます。電源を入れるときはそれぞれの機器のボリュームにご注意ください。

接続に関する詳細は、24 ページもご参照ください。

パネル・コントロール

ダイヤルとノブ



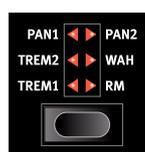
Nord Grand では、開始位置と終了位置が固定されていないノブをダイヤルと呼び、パラメーターや設定を切り替えるのに使用します。[PROG/MENU] ダイヤルもその1つです。このマニュアルでは、ダイヤルをエンコーダーと呼ぶこともあります。



Nord Grand では、多くのパラメーターにボリューム・タイプのノブが使用されています。プログラムをロードしたときにはノブの位置とパラメーターの実際の値が一致していないことが多いですが、ノブを回すと関連付けられたパラメーターの値がノブの位置を瞬時にキャッチしてノブの位置と一致するようになります。

🔊 ノブのパラメーターの現在の値を確認するには、[SHIFT] ボタンを押したままノブを回します。

ボタン



セレクター・ボタンは、丸や三角形の LED が付いたいくつかの選択肢から 1 つを選択するパラメーターに使用されます。ボタンを数回押して選択肢を順に切り替えて選択できます。



[ON OFF] ボタンは、機能のオン/オフやエフェクトのように一連の機能をまとめてオン/オフするときに使用します。オン/オフの状態はボタンの近くにある LED で示されます。また、ソースやゾーンを示す LED もあります。

- ① エフェクトのオン/オフ・ボタンにはセレクター機能もあり、「ダブルクリック」する (または [SHIFT] ボタンを押しながら 1 回押す) と別のソースを選択できます。

[SHIFT] ボタン



Nord Grand のパネル・コントロールの多くはもう 1 つの機能を備えており、それらの機能は各ボタンのすぐ下にプリントされています。これらの機能を使用するには、[SHIFT] ボタンを押しながらそのコントロールを操作します。

[SHIFT] ボタンは、メニューを終了するときや保存操作を途中で中止するときに [EXIT] ボタンとしても使用します。

MASTER LEVEL



[MASTER LEVEL] ノブは、左右のアウトプットと接続されたヘッドフォンの両方において、Nord Grand 全体の出力レベルを設定します。他のほとんどのパネル・コントロールとは異なり、この値は個々のプログラムには保存されず、物理的に設定されたレベルが常に反映されます。

PANEL LOCK



パネル・ロック機能は、演奏中に誤って設定を変更してしまうことがないように、[PROGRAM] ダイヤルを除くパネル上のすべてのボタン、ノブ、ダイヤルを無効にします。この機能のオン/オフを切り替えるには、「▼」記号で示されるように、ボタンを 1 秒間長押しする必要があります。

🔊 パネル・ロックをオンにした場合でも、[PROGRAM] ボタンの [1] ~ [5] と [LIVE MODE] ボタンは操作できます。ただし、これら进行操作するにはボタンを 1 秒間長押しする必要があります。

ディスプレイ上のボタン

メニュー・ページと設定ページ、あるいは [ORGANIZE] ビュー (下図を参照) には、関連する複数のオプションが含まれていることがあります。この場合、ディスプレイ上のボタンを使用して設定または実行するタスクを選択できます。ディスプレイの下部に表示されるこれらのボタンは、[PROGRAM] ボタンの [1] ~ [4] を使用して選択できます。例として、以下の場合に [PROGRAM 3] ボタンを押すと、スワップ操作の対象として「プログラム A : 12」が選択されます。



プログラム

プログラム・エリアはパネル中央にあり、その中央には有機 EL (OLED) ディスプレイがあります。パネル上のすべてのパラメーターを 1 つのプ

プログラムに保存できます。Nord Grand のプログラム・メモリーには 400 個のプログラムをストックしておけます。プログラムは「A」～「P」のラベルが付いた 16 個のバンクに分けられており、すべて自由に書き換えたり移動したりできます。



- ① プログラム・メモリーは、工場出荷時のプログラムを使用していつでも元の状態に戻すことができます。工場出荷時のプログラムはすべて Nord ウェブサイト (www.nordkeyboards.jp) からダウンロードできます。

プログラムを選択する

- ① プログラムはディスプレイの下にある 5 つの **[PROGRAM]** ボタンを押すか **[PROGRAM]** ダイアルを回して選択できます。Nord Grand のプログラム・バンクには 25 個 (プログラム・ページ 5 ページ分) のプログラムを登録できます。

リスト・ビュー

下に **[LIST]** と書かれた **[PROGRAM]** ダイアルなどのダイアルでは、便利なリスト・ビューを使用できます。

- ① **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[PROGRAM]** ダイアルを回すと、すべてのプログラムのリスト・ビューが表示されます。
- ② **[PROGRAM]** ダイアルを使用してプログラムを確認します。リスト・モードでは 16 個すべてのプログラム・バンクにアクセスできます。
- ③ ディスプレイ上の **[Abc]** ボタンと **[Cat]** ボタンをそれぞれ試しに押してみてください。Abc モードではすべてのプログラムが名前順にリスト表示され、Cat モードではカテゴリー順にリスト表示されます。
- ④ もう一度 **[SHIFT]** ボタンを押すとリスト・ビューが終了します。

※ **[PIANO]** ダイアルと **[SAMPLE]** ダイアルのリスト・ビューも同じように機能します。

プログラムをエディットする

プログラムのエディットとは、ノブを回したりボタンを押したりして設定値を変更する、とても簡単な操作のことです。ちょっとやってみましょう。

- ① 最初のプログラム (ピアノ・ベースのプログラム) を選択し、これをエディットしてみましょう。

※ ピانو・セクションのパネルはフロント・パネルの左端にあります。プログラム・エリアのディスプレイのピアノ・セクションには選択したピアノ・サウンドの名前が表示されます。

別のピアノ・サウンドを選ぶ

- ② Nord Grand では、ピアノ・サウンドはピアノのタイプによって分類されています (グランドやアップライトなど)。希望するタイプが選択されるまで **[PIANO SELECT]** ボタンを押します。

- ③ 次に、**[PIANO SELECT]** ダイアルを使用して、選択したタイプの中の特定のサウンドを選択します。

- ① パネルでパラメーターの設定を変更すると、ディスプレイに表示されているプログラム・ナンバーの後ろに「E」が付きます。これは、プログラムがエディット中で、まだ保存されていないことを示しています。保存操作を行う前に別のプログラムをロードすると、それまでのエディット内容は消えてしまい、次に同じプログラムを選択したときにはエディットする前の設定が表示されます。

メモリー・プロテクトをオフにする

Nord Grand はメモリーがプロテクトされた状態で出荷され、工場出荷時のプログラムが誤って上書きされないようになっています。メモリー・プロテクトはシステム・メニューにある設定を切り替えることで、オフにすることができます。

- ① **[SYSTEM]** ボタン (**[SHIFT]** + **[PROGRAM 1]**) を押します。
- ② メモリー・プロテクト (「Memory Protect」) はシステム・メニューの最初に表示される設定です。ディスプレイに別の設定が表示されている場合は、ディスプレイ上のボタンを使用して「Memory Protect」を選択します。
- ③ **[PROGRAM]** ダイアルを回してこの設定をオフに変更します。
- ④ **[EXIT]** (**[SHIFT]**) ボタンを押してシステム・メニューを終了します。

- ① この設定は、他のほとんどのシステム設定と同様に、再び変更されるまでは永続的に保存されます。

メニュー設定について詳しくは、22 ページをご参照ください。

プログラムを保存する

- ① ディスプレイの左側にある **[STORE]** ボタンを 1 回押し、現在のプログラムの保存操作を始めます。
- ② **[STORE]** ボタンの LED が点滅し、プログラムの保存先を指定する画面がディスプレイに表示されます。



- ③ エディットしたプログラムを同じプログラム番号に上書き保存する場合は、**[STORE]** ボタンをもう一度押します。別のプログラム番号に保存する場合は、ダイアルや **[PROGRAM]** ボタンを使用して別の場所を選択します。

※ プログラムの場所をスクロールすると、それぞれのプログラムがキーボード上でアクティブになり、上書き保存する前にキーボードで試聴できます。

- ④ プログラムの保存先を決めたら、**[STORE]** ボタンをもう一度押して保存操作を確定します。

- ① **[STORE]** ボタンを押す前に **[SHIFT]/[EXIT]** ボタンを押すと保存作業を中止します。

保存操作およびプログラムに名前を付ける方法については、14 ページのプログラムのチャプターをご参照ください。

ライブ・モード

他のプログラムとは異なり、5つのライブ・プログラムに対して行われたエディットは、手動の保存操作を行わなくても自動で保存されます。

- ① **[LIVE MODE]** ボタンを押して **[PROGRAM]** ボタンを押すと、5つのライブ・プログラムを切り替えることができます。
- ② 選択したプログラムに対して、いずれかのエフェクト・セクションをオンにするなどのエディットを行います。
- ③ 別のライブ・プログラムを選択したあとでエディットしたライブ・プログラムに戻ると、エディットが自動的に保存されたことがわかります。
- ④ **[LIVE MODE]** ボタンをもう一度押すと、ライブ・モードを終了し、プログラム・バンクに戻ります。

ライブ・モード・プログラムを通常のプログラムとしてプログラム・バンクに保存する場合は、**[STORE]** ボタンを押したあとに、**[LIVE MODE]** ボタンを押す（ライブモードを抜ける）ことで保存できます（前述の説明もご参考ください）。反対に、**[LIVE MODE]** ボタンを押してライブ・プログラムのいずれかを選択すれば、通常のプログラムをライブ・モードのいずれかのメモリーに保存することもできます。

エフェクトをオンにする

- ① 最初のプログラム（ピアノ・ベースのプログラム）が選択されていることを確認します。
 - ② リバーブの **[ON]** ボタンを押してリバーブをオンにします。
 - ③ リバーブ・セクター・ボタンの上にある **[DRY WET]** ノブでリバーブの量を調整します。
 - ④ **ディレイの [ON OFF]** ボタンを押してディレイ・エフェクトをオンにします。
 - ⑤ ボタンの上の LED は、どのサウンド・エンジンがそのエフェクトにルーティングされているかを示します（**[PIANO]** または **[SYNTH]**）。**[PIANO]** LED が点灯していない場合は、**[PIANO]** LED が点灯するまで **[SHIFT]** ボタンとディレイの **[SOURCE]** ボタンを押します。
- ※ **[ON/OFF]/[SOURCE]** ボタンを「ダブルタップ」すると、エフェクト・ユニットのソースを素早く切り替えることができます。
- ⑥ **[TEMPO]**、**[FEEDBACK]**、**[DRY WET]** のコントロールを使って、ディレイ・エフェクトの特性や強さを変更してみましょう。

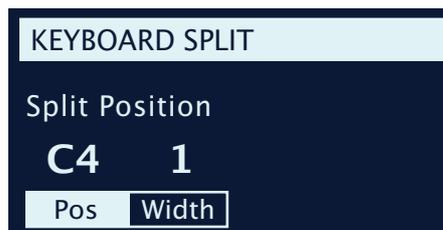
サンプル・シンセを含むレイヤー

- ① サンプル・シンセ・セクションをオンにします。
 - ② 2つの **[CATEGORY]** ボタンを使用して [Strings Ensemble] カテゴリーを選択します（カテゴリーはアルファベット順に保存されています）。
- ※ 両方の **[CATEGORY]** ボタンを同時に押したままにすると、利用できるすべてのカテゴリーのリストが表示され、**[SAMPLE SELECT]** ダイアルを使用して希望するカテゴリーを素早く識別できます。
- ③ **[SAMPLE SELECT]** ダイアルを回して選択したカテゴリーからストリング・サウンドを選択します。ディスプレイの一番下にサンプルの名前が表示されます。
 - ④ **[LEVEL]** ノブを使用して、そのストリングに適したサウンド・レベルを設定します。

サンプルを選択すると、そのサンプル・シンセのエンベロープ（アタック、ディケイ/サステイン/リリリース）、ダイナミクス、フィルター設定のプリセットもロードされます。これらのパラメーターは必要に応じて手動で調節することもできます。これらのコントロールについて詳しくは、13ページ以降のサンプル・シンセのチャプターをご参照ください。

スプリットを作成する

- ① ピانو・セクションとサンプル・シンセ・セクションがどちらもオンになっていることを確認します。
- ② **[KBD SPLIT]** ボタンを押します。**[PNO/SYNT]** と **[SYNT/PNO]** という2つの構成があります。ここでは **[PNO/SYNT]** に設定します。これは、ピアノ・サウンドがキーボードの左側に配置され、サンプル・シンセ・サウンドが右側に配置されることを意味します。
- ③ スプリット・ポイントの位置を調節するには、**[SET SPLIT]** (**[SHIFT]** + **[KBD SPLIT]**) ボタンを押します。
- ④ ディスプレイ上の **[Pos]** ボタン（**[PROGRAM 1]** ボタンに対応）を押して、**[Pos]** 設定がフォーカスされていることを確認します。ダイヤルを使用してスプリット・ポイントを **C4** に設定します。



これでキーボードが2つのゾーンに分割されます。スプリット・ポイントは鍵盤上のLEDで示されます。ピアノ・セクションとサンプル・シンセ・セクションの **[OCTAVE UP]** または **[OCTAVE DOWN]** コントロールを使用すると、割り当てられる音の範囲が変わります。

スプリット・クロスフェード（スプリット幅）を設定する最後の手順として、スプリットしたピアノとサンプル・シンセのサウンドがなめらかに切り替わるようにスプリット・ポイントを調節しましょう。

- ⑤ **[SET SPLIT]** (**[SHIFT]** + **[KBD SPLIT]**) をもう一度押します。
- ⑥ ディスプレイ上の **[Width]** ボタン（**[PROGRAM 2]** ボタン）を押します。これでスプリット・ポイントのスプリット幅を調節できます。
- ⑦ **[PROGRAM]** ダイアルを回して幅の値を12に設定します。**[KBD SPLIT]** ボタンを放します。

これで、スプリット・ポイントをまたいで演奏すると、低音部と高音部の間に「クロスフェード」がかかるようになります。キーボードの上のスプリット LED が赤く点灯します。これは、幅が12に設定されていることを表しています。幅が6に設定されているとLEDが黄色く点灯し、幅が1に設定されているとLEDが緑色に点灯します。

パネル・ロックをオンにする



パネル・ロック機能はフロントパネルの左端にあり、オンにするとパネル・コントロールが誤って操作されないようにロックされます。パネル・ロックのオン/オフを切り替える手順は以下のとおりです。

- ① **[PANEL LOCK]** ボタンを1秒間長押しすると、LEDが点灯します。
- ② パネル上のいくつかのノブを回してみて、これらの操作が効かず、ディスプレイに [Panel Locked] と表示されることを確認してください。
- ③ この機能をオフにするには、**[PANEL LOCK]** ボタンをもう一度1秒間長押しします。

※ パネル・ロックをオンにしても、**[PROGRAM]** ダイアルは通常どおり使用できます。**[PROGRAM]** ボタンの [1] ~ [5] と **[LIVE MODE]** ボタンも使用できますが、これら进行操作するにはボタンを1秒間長押しする必要があります。

4 ピアノ



オン/オフの切り替えとレベルの選択

ピアノ・セクションは **[ON]** ボタンを押してオン/オフを切り替えます。ピアノ・サウンドのボリュームは、**[LEVEL]** ノブでコントロールします。

OCTAVE UP/DOWN

[OCTAVE UP] ([SHIFT] + [PEDALS]) を押すとピアノ・セクションを 1 オクターブ上 (+12 半音) にトランスポーズでき、**[OCTAVE DOWN]** ([SHIFT] + [PIANO SELECT] ボタン) を押すと 1 オクターブ下 (-12 半音) にトランスポーズできます。オクターブ・シフトをキーボード全体に割り当てると、キーボード全体を 1 オクターブ上または下にトランスポーズできます。スプリットがオンになっている場合、トランスポーズできる値は異なる場合がありますが、ピアノの全範囲にいつでもアクセスできます。

[SUSTAIN] と [VOLUME]

[SUSTAIN] を押すと、接続したサステイン・ペダル (Nord Triple Pedal など) をピアノ・セクションで使用できるようになります。

[VOLUME] を押すと、接続したコントロール・ペダルをピアノ・セクションのボリューム・コントロールとして割り当てることができます。使用できる最大ボリュームは、**[LEVEL]** ノブで設定した値に対応します。

接続したペダルの設定方法について詳しくは、22 ページのメニューのチャプターをご参照ください。

サステイン・ペダルとボリューム・ペダルは同時にオンにすることができ、その場合は両方の LED が点灯します。

ピアノ・サウンドについて

Nord Grand のピアノには 6 つのタイプがあり、各タイプにはさらにいくつかのモデルがあります。無償のアプリケーション Nord Sound Manager を使用すると、Nord ウェブサイト (www.nordkeyboards.jp) から新たなピアノ・サウンドをダウンロードして Nord Grand に追加できます。

工場出荷時の状態では、アコースティック・ピアノ、エレクトリック・ピアノ、デジタル・ピアノなどのサウンドとピアノ・レイヤーが多数内蔵されています。これらのサウンドとピアノ・レイヤーは、サウンドやレスポンスのニュアンスができる限りオリジナルの楽器に近づくよう、膨大な手間をかけて作成されました。ピアノ・サウンドに使用できるメモリー・サイズは 2GB です。

- ❶ Nord Sound Manager を使用してピアノ・サウンドを本機へダウンロードすると、そのサウンドのタイプ/カテゴリーに応じたメモリー・ロケーションに自動的に保存されます。

そのため、Nord Grand にダウンロードされていないピアノを必要とするプログラムを選択すると、ディスプレイに「Piano not found」と表示されます。このような場合、同じカテゴリーまたは別のカテゴリーの別のモデルを選び直すか ([PIANO SELECT] ボタンとダイヤルを使用)、Nord Sound Manager を使用して必要なインストールメントを本機にダウンロードしてください。

ピアノ・サイズについて

Nord Piano Library のサウンドには、最大で 4 種類のサイズがあります。以下の表は、各サイズの機能の違いをまとめたものです。

	Sml	Med	Lrg	XL
ステレオ・サンプリング	✓	✓	✓	✓
詳細なベロシティ・マッピング	✓	✓	✓	✓
中音域のペダル・ダウン・サンプル		✓		
全音域のペダル・ダウン・サンプル			✓	✓
鍵盤全体にマッピング				✓

- ❶ ペダル・ダウン・サンプルは、そのペダルの [STRING RES] (ストリング・レゾナンス) がオンになっている場合にのみ使用できます。詳しくは次のページをご参照ください。

スモール (Sml) のピアノ・ファイルにはストリング・レゾナンスが収録されていないため、使用するピアノ・メモリーの容量が最も小さくなります。

ミディアム (Med) には、演奏上重要な位置を占める中音域のストリング・レゾナンスが収録されています。

ラージ (Lrg) には、すべての音域でストリング・レゾナンスが収録されています。

また、エクストラ・ラージ (XL) バージョンを利用できるピアノも数多くあります。XL バージョンではサウンドが鍵盤全体にマッピングされるため、Nord の各キーがオリジナル楽器の鍵盤に正確に対応します。そのため、サイズは当然大幅に増加します。

ピアノ・インフォ



[PIANO INFO] ボタン ([SHIFT] + [ON]) を押すと、バージョン・ナンバーやピアノ・ファイルの正確なサイズなど、現在選択しているモデルに関する詳細な情報が表示されます。

PIANO SELECT

タイプとモデル

使用するピアノ・サウンドのタイプを選択するには、**[PIANO SELECT]** ボタンを使用します。ピアノ・サウンドは全部で 6 つのタイプに分類されます。

タイプ	内容
Grand	アコースティック&エレキリック・グランド・ピアノ
Upright	アップライト・ピアノ
Electric	エレキリック・ピアノ
Clav/Hps	クラビネットとハーブシコード
Digital	デジタル・ピアノ・サウンドとレイヤー・ピアノ・サウンド
Misc	鍵盤打楽器など、その他のさまざまなサウンド

選択したタイプの中のピアノ・サウンドを選択するには、**[PIANO SELECT]** ダイアルを使用します。

三角形の **[PIANO SELECT]** LED は、現在選択しているピアノ・モデルのタイプを示します。選択したモデルの名前は、プログラム・エリアのディスプレイの一番下にある鍵盤アイコンの隣に表示されます。

クラビネットについて

オリジナルの Clavinet D6 では、ロッカー・スイッチでピックアップの組み合わせを選択できました。Nord Grand でもこの機能は忠実に再現され、オリジナルの Clavinet D6 のピックアップはすべて選択できます。

ピックアップ・タイプ

Clav Model A：「ネック」側のピックアップを使用したソフトなサウンド。
Clav Model B：「ブリッジ」側のピックアップを使用したブライトなサウンド。

Clav Model C：両方のピックアップを同位相で出力したパワフル・サウンド。

Clav Model D：両方のピックアップを使用し、位相を反転させ、基音成分がほとんど打ち消された線の細いサウンド。

リスト・ビュー

[SHIFT] ボタンを押しながら **[PIANO SELECT]** ダイアルを回すと、ピアノ・サウンドの**リスト・ビュー**がオンになります。

Piano Grand 3/10
1 Royal Grand 3D XL
2 Velvet Grand L
3 Grand Imperial L
4 Silver Grand L
5 Studio Grand 2 Med

リストでは現在選択しているモデルに四角い枠が表示され、前後のモデルも確認できます。

ピアノ・リストの一番上の行には、現在選択しているモデルのタイプ名（ここでは「Grand」）、そのタイプで使用できるモデル数（10）、そのモデルのインデックス（3）が表示されます。

リスト・モードで **[PIANO SELECT]** ボタンを使用すると、ピアノ・タイプを瞬時に切り替えることができます。

KBD TOUCH



Nord Piano Library のピアノには非常に幅広いダイナミクス・レンジが収録されており、好みや演奏の流れに合わせてダイナミクス・レスポンスを調節できます。

[MEDIUM] 設定は「中間」を表し、小さな音と大きな音の両方を比較的容易に出すことができます。

[HEAVY] 設定は鍵盤の重いピアノをシミュレートしたもので、大きな音で演奏するには強く弾く必要があります。

[LIGHT] 設定は鍵盤の軽いピアノをシミュレートしたもので、軽く弾くだけで大きな音が出ます。

[STRING RES] と [SOFT RELEASE]

ストリング・レゾナンス

ストリング・レゾナンスとは、すべての弦または一部の弦が、演奏中の弦の基音や倍音に共鳴する音響現象のことです。

[STRING RES] をオンにすると、グランド・ピアノやアップライト・ピアノの内部で起きている豊かで素晴らしい音響現象がすべての音域で再現されます。この効果はシンパセティック・ストリング・レゾナンスと呼ばれます。

サスティン・ペダルを踏み、すべてのダンパーが弦から離れることで、レゾナンス・エフェクトがさらに増大します。この目的のために、専用のペダル・ダウン・サンプルを使用できます。これらを使用できる範囲は、選択したピアノのサイズによって異なります。詳しくは前のページの表をご参照ください。

シンパセティック・ストリング・レゾナンス・エフェクトのサウンド・レベルは、サウンド・メニューで設定できます（22 ページを参照）。

- ❶ ストリング・レゾナンス機能をサポートしていないピアノを選択した場合、この機能は使用できません。例えば、スモール（Sml）バージョンのグランド・ピアノ、アップライト・ピアノ、エレキリック・ピアノ、デジタル・ピアノ、レイヤー・ピアノはこの機能をサポートしていません。

ソフト・リリース

[SOFT RELEASE] をオンにすると、ピアノ・サウンドのリリースがわずかに長く、不明瞭になります。これは、アコースティックやエレキリック・ピアノのダンパー・テンションを調整するのと同じ効果となります。また、リリースのかけり具合はノートごとにタッチの強弱に反応するようになっています。

- ❶ クラビネットやハーブシコードなどの一部のピアノ・タイプはソフト・リリース機能に対応していません。対応していないピアノ・タイプを選択すると、**[SOFT RELEASE]** ボタンが無効になります。

NORD TRIPLE PEDAL

付属の Nord Triple Pedal があれば、次の機能を使用できます。

ペダル・ノイズ

ペダル・ノイズ機能は、アコースティック・ピアノでダンパー・ペダルを操作したときの機械的なノイズを再現するものです。ノイズの大きさは、サスティン・ペダルを踏む強さに応じて動的に調整されます。ペダル・ノイズの大きさはサウンド・メニューで設定できます（22 ページを参照）。

ハーフ・ペダリング

Nord Triple Pedal のサスティン・ペダルを使用すると、ハーフ・ペダリング奏法で演奏できます。つまり、ピアノの「仮想」ダンパーが完全に上がっても下がってもいない状態になり、「ややダンパーがかかった」サウンドになります。

ソステヌート

ソステヌート・ペダル（中央）を踏むと、ペダルを踏んだときに押さえている音のみサスティンがかかり、そのほかの音にはサスティンがかかりません。

ソフト・ペダル

左のペダルはソフト・ペダル、別名ウナ・コルダです。このペダルを踏むと、すべての音の音量がわずかに下がり、やや落ち着いた音色になります。

TIMBRE



ピアノの [TIMBRE] 設定を使用すると、エフェクト・セクションの EQ ユニットを他のタスク用に空けたまま、選択したピアノ・サウンドの特性を素早く変化させることができます。

アコースティック・ピアノの設定

[TIMBRE] の他のオプションとは異なり、アコースティック・ピアノを [SOFT] モードに設定しても、サウンドにフィルターは適用されません。代わりに、ダイナミクス・レスポンスが調整されて、サウンドが柔らかく落ち着いた音色になります。

[MID] モードに設定すると、高周波数レンジと低周波数レンジの両方が抑えられ、ミッド・レンジが強調された鋭いサウンドになります。

[BRIGHT] モードに設定すると、高周波数レンジが強調されて、非常に明るく澄んだサウンドになります。

エレクトリック・ピアノの設定

エレクトリック・ピアノを選択した場合、[TIMBRE] のすべての設定はエレクトリック・ピアノのサウンドに合わせて調整されます。

[SOFT] に設定すると、鮮明で迫力のあるサウンドを維持したままトレブル・サウンドとベル・サウンドが軽減されます。

[MID] に設定すると、アッパー・ミッド・レンジがブーストされ、サウンドに「存在感」と切れ味が増えられます。

[BRIGHT] に設定すると、アッパー・ミッド・レンジがブーストされてブリリアンス/トレブルが増加され、選択したピアノ・サウンドに存在感と透明感が加えられます。

[DYN01] と [DYN02] の設定は、70 年代および 80 年代初頭に使われていたティン・ベース・エレクトリック・ピアノの付加機能だったカスタム・プリアンプと EQ で作成されたサウンドをベースにしています。これらの設定は、どちらもエレクトリック・ピアノ特有の「ベル」サウンドを大幅に増幅します。[DYN02] 設定ではベース・レジスターもブーストされ、極端に「中域が抑えられた」サウンドになります。

- ① [TIMBRE] の設定を [DYN01] または [DYN02] にするには、選択したエレクトリック・ピアノがバージョン 6.0 以降である必要があります。バージョン 6 のエレクトリック・ピアノ・ファイル（「.npno」形式）は、nordkeyboards.com からダウンロードできます。

CLAV 設定

オリジナルのクラビネットには 4 つのロッカー・スイッチがあり、内蔵 EQ をコントロールできました。Nord Stage 3 では、これらのスイッチで作られるほとんどの組み合わせを使用できます。

使用できる設定は、[Soft]、[Treble]、[Soft+Treble]、[Brilliant]、[Soft+Brilliant]、[Treble+Brilliant]、[Soft+Treble+Brilliant] です。

5 サンプル・シンセ



オン/オフの切り替えとレベルの選択

サンプル・シンセ・セクションは **[ON]** ボタンを押してオン/オフを切り替えます。サンプル・シンセ・セクションのボリュームは、**[LEVEL]** ノブでコントロールします。

OCTAVE UP/DOWN

[OCTAVE UP] (**[SHIFT]** + **[DYNAMICS]**) または **[OCTAVE DOWN]** (**[SHIFT]** + **[PEDALS]**) を使用すると、サンプル・シンセ・セクションを1オクターブ上または下 (±12半音) にトランスポーズできます。オクターブ・シフトをキーボード全体に割り当てると、キーボード全体を1オクターブ上または下にトランスポーズできます。1つのゾーンだけに割り当てられる場合、トランスポーズできる値は異なりますが、サンプル・シンセの全範囲にいつでもアクセスできます。

PEDALS

[SUSTAIN] を押すと、接続したサスティン・ペダルをシンセ・セクションで使用できるようになります。

[VOLUME] を押すと、接続したコントロール・ペダルをシンセ・セクションのボリューム・コントロールとして割り当てることができます。使用できる最大ボリュームは、**[LEVEL]** ノブで設定した値に対応します。

接続したペダルの設定方法について詳しくは、22ページをご参照ください。

サンプル・シンセについて

多用途なサンプル・シンセ・セクションには最大512MBのサンプルを保存できるほか、すぐに使用できるサンプルが多数搭載されています。また、Nordウェブサイト (www.nordkeyboards.jp) の Nord Sample Library には数多くのサンプルが用意されており、無償のアプリケーション Nord Sound Manager を使用してそれらを本機にダウンロードできます。さらに、同じく Nord ウェブサイトからダウンロードできる無償のアプリケーション Nord Sample Editor を使用すれば、あらゆるサウンド・ソースからカスタム・サンプルを作成できます。

サンプルを選択する

[CATEGORY] ボタン (▲/▼) は、ディスプレイに表示される使用可能なカテゴリを切り替えたり選択したりするのに使用します。また、カテゴリ・リストの最後には数字オプションがあり、これを選択すると、使用できるすべてのサンプルがサンプル・メモリー内に保存されている順に表示されます。

カテゴリを選択すると、そのカテゴリ内のすべてのサンプルを **[SAMPLE SELECT]** ダイアルで選択できるようになります。選択したサンプルの場所と名前はプログラム・エリアのディスプレイに表示されます。

リスト機能

[SHIFT] ボタンを押しながら **[SAMPLE SELECT]** ダイアルを回すと、サンプルをリスト・ビューでブラウズできます。**[CATEGORY]** ボタンと **[SAMPLE SELECT]** ダイアル (または **[PROGRAM]** ダイアル) を使用すると、リスト・モードでない場合と同じようにサンプルを切り替えることができます。

Sample	String Ens
2	OrchStrings Leg HiVib
3	OrchStrings Marc HiVib
4	OrchStrings Tremolo
5	OrchStrings Pizzicato
6	ChamberStr Legato

両方の **[CATEGORY]** ボタンを同時に押したままにすると (**[LIST]**)、利用できるすべてのカテゴリのリストが表示され、**[SAMPLE SELECT]** ダイアル (または **[PROGRAM]** ダイアル) を使用してリストからカテゴリを選択できます。**[CATEGORY]** ボタンを放すと、選択したカテゴリ内のサンプルをブラウズできます。

サウンドを形成する

ロードしたサンプルのサウンドとレスポンスを調整する方法がいくつかあります。各サンプルには以下のパラメーターのプリセット値が用意されており、サンプルを選択すると自動的にロードされます。もちろん、これらのコントロールはすべて、必要に応じて手動で調節することもできます。

DYNAMICS

AMP

[AMP] (振幅) 設定をオフにすると、サンプルは常にフル・ペロシティで再生されます。オンにすると、サンプル・シンセのサウンド・レベルは演奏時のペロシティに応じます。

FILTER

[FILTER] をオンにすると、サンプル・シンセにペロシティ・センス付きロー・パス・フィルターが適用されます。このフィルターは鍵盤を強く弾くことに反応します。つまり、鍵盤を弱く弾けば柔らかいサウンドになり、強く弾けば明るいサウンドになります。

[ATTACK]、[SUSTAIN]、[DECAY/RELEASE]

これらのコントロールを使用すると、サンプル・シンセ・サウンドの輪郭、つまり「エンベロープ」を設定できます。

[ATTACK] は、サンプルが最大レベルに達するまでの時間を設定します。**[DECAY/RELEASE]** は、サンプルが再生されてから消えるまでの時間を設定します。ノブを12時の位置に設定した場合はサンプルが **[SUSTAIN]** モードとなり、鍵盤を押している間中サウンドが鳴り続けます。12時の位置を越えると、ノブを右に回すほど鍵盤を放したあとのテイル部分が長くなります。

6 プログラム



中央にあるプログラム・セクションでは、プログラムの保存やロードなどの演奏機能、ライブ・プログラム、キーボード・スプリット機能などを使用できます。さらに、システム、サウンド、MIDIなどの設定メニューにもアクセスできます。各メニューとその設定については、22ページ以降のチャプターで詳しく説明します。

TRANSPOSE ON/SET



Nord Grand では、プログラムごとに半音単位で±6半音までトランスポーズできます。トランスポーズ値を設定するには、**[ON/SET]** を押したまま、ダイヤルを使用して設定を選択します。**[ON/SET]** を押すと、トランスポーズ機能のオン/オフが切り替わります。トランスポーズ設定は、プログラムの一部として保存して呼び出すことができます。

すべてのプログラムに影響するトランスポーズを設定するには、システム・メニューでグローバル・トランスポーズ・パラメーターを使用します。

MONO

[MONO] モード (**[SHIFT]** + **[TRANSPOSE]**) では、ステレオでサンプリングされたすべてのピアノがモノラルで再生され、ステレオ・サンプルはモノラル信号に統合されます。Nord のピアノ・サウンドのモノ・バージョンは、モノラルでも最適なサウンドを再現できるように特別に設計されています。

KBD SPLIT



Nord Grand のキーボードは2つのゾーンに分割できます。**[PNO/SYNT]** に設定すると左側にピアノ・サウンド、右側にサンプル・シンセ・サウンドが配置され、**[SYNT/PNO]** に設定するとこの配置が逆になります。

キーボード・スプリットの設定

[SET SPLIT] (**[SHIFT]** + **[KBD SPLIT]**) を押すと、キーボード・スプリットの設定ページがディスプレイに表示されます。

スプリット・ポジションを選択する

ディスプレイ上の **[Pos]** ボタン (**[PROGRAM 1]** ボタンに対応) を押して、**[Pos]** 設定がフォーカスされていることを確認します。ダイヤルを使用して、7つのキーボード・スプリット・ポジション (C3 ~ C6) のいずれ

かを選択します。キーボードの上にはLEDが付いており、どのスプリット・ポジションがオンになっているかが表示されます。

スプリット幅の設定

通常、2つのキーボード・ゾーン間のトランジションは即時適用され、各ゾーンに対して選択されたサウンド同士はオーバーラップしません。スプリット幅を設定することで、サウンド同士をミックスしたり、スプリット・ポイント上でクロスフェードをかけたりしてサウンドがスムーズに切り替わるようにできます。ディスプレイ上の **[Width]** (**[PROGRAM 2]**) ボタンを押すと、スプリット幅、つまりスプリット・ポイントの「クロスフェード」範囲を調節できます。ダイヤルを回して3種類の設定を選択できます。

KEYBOARD SPLIT

Split Width

C4 12

Pos Width

1 : [1] に設定するとサウンド間にクロスフェードがかかりません。

6 : [6] に設定するとスプリット幅が12半音分になります。スプリット・ポイントより下のサウンドは、スプリット・ポイントの6音上まで影響し (フェード・アウトがかかり)、同様に、スプリット・ポイントより上のサウンドは、6音下のサウンドまで影響します。

12 : [12] に設定するとスプリット幅が24半音分になり、スプリット・ポイントの上下12半音にクロスフェードがかかります。

保存する ([STORE])



[STORE] ボタンを使用すると、エディットしたプログラムをプログラム・バンク内の任意の場所に保存できます。選択した場所にプログラムが存在する場合、既存のデータは上書きされます。

① Nord Grand はメモリーがプロテクトされた状態で出荷されます。プログラムを保存できるようにするには、システム・メニューで **[Memory Protect]** パラメーターを「Off」に設定する必要があります。詳しくは22ページをご参照ください。

プログラムを保存する

名前を変更せずにプログラムを保存する手順は以下のとおりです。

① **[STORE]** ボタンを1回押します。すると、**[STORE]** LEDが点滅し始め、プログラムの名前と場所がディスプレイに表示されます。

STORE PROGRAM TO

A:13
Amber Upright

- ② 別の保存場所を選択するには、ダイアルと **[PROGRAM]** ボタンの **[1]** ~ **[5]** を使用します。また、**[LIVE MODE]** ボタンを押して希望するライブ・プログラムを選択すると、いずれかのライブ・プログラムの場所にプログラムを保存することもできます。選択した保存場所にあるプログラムは、キーボードを弾いていつでも確認できます。
- ❶ 保存操作を途中で中止するには **[EXIT]** ボタンを押します。
- ③ 適切な保存場所を選択したら、もう一度 **[STORE]** ボタンを押して操作を確定します。

プログラムに名前を付ける ([STORE AS...])

- ① プログラムに名前を付けて保存するには、**[STORE AS...]** ボタン (**[SHIFT]** + **[STORE]**) を押します。
- ② ディスプレイ上の **[ABC]** ボタンを押し続けると、アルファベットの列が表示されます。ダイアルを使用して現在の位置の文字を選択します。**[ABC]** ボタンを放すとカーソルが次の文字に進みます。ダイアルを使用してカーソルを自由に動かすことができます。ディスプレイ上の **[Ins]** ボタンを押すとカーソルの位置にスペースが挿入され、**[Del]** ボタンを押すと選択している文字が削除されます。



- ③ プログラムにカテゴリーを割り当てるには、ディスプレイ上の **[Cat]** ボタンを押したままダイアルを使用して、リスト内の 20 個のカテゴリーのいずれかを選択します。
- ④ **[STORE]** ボタンを押すと、**[STORE PROGRAM TO]** 画面が表示されます。ダイアルと **[PROGRAM]** ボタンを使用して場所を選択します。選択した場所にあるサウンドは、キーボードを弾いて確認できます。
- ⑤ 適切な保存場所を選択したら、もう一度 **[STORE]** ボタンを押します。
- 🔔 プログラムの名前は、Nord Sound Manager を使用して付けることもできます。

[SHIFT]/[EXIT] ボタン



多くのコントロールにはもう 1 つの機能があり、**[SHIFT]** ボタンを押しながらボタンを押すかダイアルを回すとその機能を使用できます。**[SHIFT]** ボタンで使用できる機能の名前は、各コントロールの下にプリントされています。例えば、**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[PROGRAM 2]** ボタンを押すと、サウンド・メニューが開きます。**[SHIFT]** ボタンは、メニューを**終了**するときや、保存操作を途中で中止するときにも使用します。

LIVE MODE



Nord Grand には簡単にアクセスできる 5 つのライブ・プログラムがあります。他のプログラムとは異なり、ライブ・プログラムへのエディットは自動的に保存されます。ライブ・プログラムを終了するか本機の電源を切ると、手で保存操作を行わなくてもすべてのエディットが保存されます。ライブ・プログラムを選択するには、**[LIVE MODE]** ボタンを押したあと、プログラム・エリアの **[1]** ~ **[5]** のいずれかのボタンを押します。

ライブ・プログラムは、通常の保存操作でプログラム・バンク内に保存できます (前のページを参照)。反対に、通常のプログラムをライブ・プログラムとして保存することもできます。

[PROGRAM] ボタン

[PROGRAM] ボタンの **[1]** ~ **[5]** を使用して現在のプログラム・バンク内の 5 つのプログラム (ページ) を瞬時に選ぶことができます。これらのボタンは、メニュー設定を操作する際にはディスプレイ上のボタンとしても機能します。ディスプレイ上のボタンの機能について詳しくは、7 ページをご参照ください。

プログラムとは?

プログラムには、選択したピアノ・サウンドやサンプル・サウンドへの参照情報、エフェクト設定、およびパネルで行ったその他すべての設定 (マスター・レベルとパネル・ロックを除く) が含まれます。システム・メニュー、サウンド・メニュー、MIDI メニューで行った設定はプログラムには含まれません。

システム・メニュー、サウンド・メニュー、MIDI メニュー

[SYSTEM] ボタン (**[SHIFT]** + **[PROGRAM 1]**)、**[SOUND]** ボタン (**[SHIFT]** + **[PROGRAM 2]**)、または **[MIDI]** ボタン (**[SHIFT]** + **[PROGRAM 3]**) を押すと、システム・メニュー、サウンド・メニュー、MIDI メニューがそれぞれ開きます。利用できるすべてのメニュー設定については、22 ページをご参照ください。

[PROGRAM] ダイアル



ディスプレイの右にある **[PROGRAM]** ダイアルは、プログラムの選択、パラメーター値の設定、プログラム名の文字入力に使用します。**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[PROGRAM]** ダイアルを回すと**リスト**機能がオンになり、すべてのプログラムがリスト表示されます。

プログラムリストの [ABC] と [CAT]

プログラムをブラウズする際、**[LIST]** (**[SHIFT]** + **[PROGRAM]** ダイアル) ビューにはプログラムの概要が番号順に表示されますが (ディスプレイ上で **[Num]** が選択されている場合)、その他にも 2 種類のソート・モードがあります。それが **[Abc]** (**[PROGRAM 2]**) と **[Cat]** (**[PROGRAM 3]**) です。

[Abc] モードではリストがアルファベット順に表示され、**[Cat]** モードでは選択したカテゴリーのすべてのプログラムが表示されます。特定の文字またはカテゴリーを選択するには、「**▼**」記号で示されるようにディスプレイ上の **[Abc]** または **[Cat]** ボタンを押したままダイアルを回します。



- ❶ 選択したソート・モードは、ディスプレイ上の **[Num]** をもう一度押すまで維持されます。

数字パッドによるナビゲーション・モード

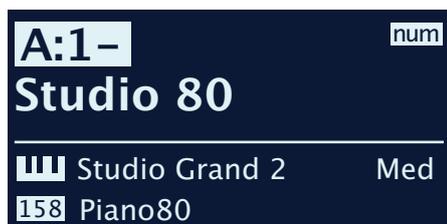
プログラムとバンクの切り替えは、デフォルトの「ページ・ベース」モードと数字パッド・モードという 2 種類のモードで行えます。使用するモードはシステム・メニューで設定します (22 ページを参照)。

数字パッド・モードでは、5つのプログラムをページ上で直接切り替えるのではなく、[PROGRAM] ボタンの [1] ~ [5] を使用して現在のバンク内のプログラム番号 (11 ~ 55) を入力します。

例として、現在のバンク内のプログラム 12 を選択するには、まず [PROGRAM 1] ボタンを押し (ページ 1 が選択される)、次に [PROGRAM 2] ボタンを押します (そのページ内のプログラム 2 が選択される)。

デフォルトのナビゲーション・モードと同様、[PROGRAM] ダイアルを回すとプログラムが順次切り替わります。

※ ディスプレイの右上に表示される「num」記号は、数字パッド・モードがオンになっていることを示しています。



上の図は、[PROGRAM 1] ボタンを押した場合の例です。ダッシュ (-) は、次の桁を入力してプログラム 11 ~ 15 を選択できることを表しています。

PANEL LOCK



PANEL LOCK 機能はパネルの左端にあり、オンにすると誤って操作されないようにすべてのボタンがロックされます。この機能のオン/オフを切り替えるには、「▼」記号で示されるように、ボタンを 1 秒間長押しする必要があります。

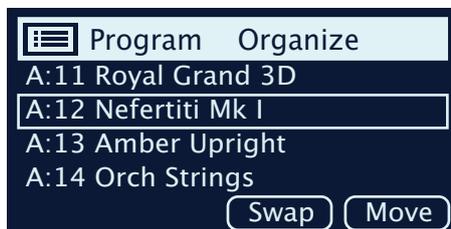
パネル・ロックをオンにした状態でもプログラムを変更できるように、[PROGRAM] ダイアルはこの機能の影響を受けません。また、[PROGRAM] ボタンの [1] ~ [5] と [LIVE MODE] ボタンも使用できますが、これらを使用するにはボタンを 1 秒間長押しする必要があります。

ORGANIZE

[ORGANIZE] ([SHIFT] + [PROGRAM 4]) ビューを使用すると、プログラム・バンク内でプログラムを移動したり「スワップ」したりできます。

[ORGANIZE] ビューを開く

- 1 **[ORGANIZE]** ([SHIFT] + [PROGRAM 4]) を押します。



2つのプログラムを切り替える

スワップ操作を行うと、2つのプログラムの位置が入れ替わります。

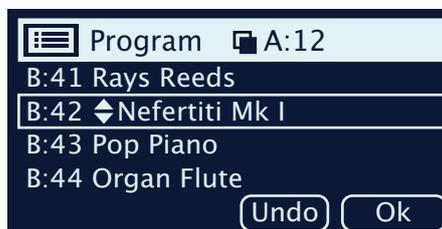
- 2 ダイアルを使用して、別のプログラムとスワップする必要のあるプログラムを選択し、**[Swap]** を押します。



- 3 ダイアルを使用してスワップ先を選択し、**[Ok]** を押すとスワップ操作が完了します。**[Undo]** を押すと操作が中止されます。

プログラムを移動する

- 4 ダイアルを使用して、別の場所に移動する必要のあるプログラムを選択し、**[Move]** を押します。



- 5 ダイアルを使用して移動先を選択し、**[Ok]** を押します。**[Undo]** を押すと操作が中止されます。

▲ 移動元と移動先間のプログラムは 1 つ上または 1 つ下に移動し、影響を受ける範囲内のページに表示されるプログラムも変化します。

- ① プログラムは、Nord Sound Manager を使用して並べ替えることもできます。

MIDI LED インジケーター



MIDI LED は [MASTER LEVEL] ダイアルの下にあり、MIDI インポートまたは USB 接続を介して MIDI メッセージを受信すると点滅します。

PANIC



MIDI の設定を行っているときに本機の音が止まらなくなってしまう場合、または何らかの理由ですべてのサウンドを止める必要がある場合には、**[PANIC]** ([SHIFT] + [PROGRAM 5]) 機能を使用します。これは、内部的に「オール・ノート・オフ」メッセージを発生させ、サステイン・ペダルをリセットする機能です。

7 エフェクト



エフェクトをオンにする

エフェクトをオンにするには、各エフェクトの[ON OFF]ボタンを押します。ボタンの上のLEDは、エフェクトがどのサウンド・エンジンに割り当てられているかを示します([PIANO]または[SYNTH])。[SOURCE]ボタン([SHIFT] + [ON/OFF])を押すと、エフェクトがかかるサウンド・エンジンが切り替わります。

※ エフェクト・ソースは、[SOURCE]ボタンを「ダブルクリック」して選択することもできます。

ワウ・エフェクトは入力信号の音量変化でフィルターのフリクエンシーをコントロールするペロシティ・センシティブ（エンベロープ・フォロワー）なエフェクトです。

※ エフェクト1の[CTRL PED]モードがオンになっている場合、このエフェクトは[VOL/CTRL PEDAL]ジャックに接続したエクスプレッション・ペダルを使用して従来のワウ・ペダルとして使用することもできます。

EFFECT1



EFFECT1 ユニットには6種類のモジュレーション・エフェクトがあります。エフェクトの切り替えはセレクトター・ボタンで行い、[RATE]ノブを使用して選択したエフェクトのレート（速度）を設定します。

TREM（トレモロ）

[TREM]（トレモロ）は音量をモジュレートして周期的に変化させるエフェクトで、エレキトリック・ピアノで非常によく使われます。

エフェクトの強さは[TREM 1]、[TREM 2]、[TREM 3]（1+2）から選択できます。

PAN（オート・パン）

[PAN]はステレオの左右をサウンドがスムーズに行き来するエフェクトです。

エフェクトの強さは[PAN 1]、[PAN 2]、[PAN 3]（1+2）から選択できます。

WAH（ワウ）

[WAH]（ワウ）はあらゆるサウンドをアヒルの鳴き声に似た特徴的なサウンドにするエフェクトで、エレキトリック・ピアノやクラビネットに使うと非常に効果的です。このエフェクトは、エフェクト1の[RATE]ノブを使用してフィルターのフリクエンシーをモジュレートさせるローパス・タイプのフィルターであり、スワイプするときにサウンド・キャラクターが大きく変化します。

RM（リング・モジュレーション）

[RM]（リング・モジュレーション）は2つの入力信号を互いに掛け算するエフェクトで、不協和なベルのような音になります。Nord Grandのリング・モジュレーションでは、インストゥルメントからの信号とエフェクトに内蔵のサイン波を掛け算するようになっています。

リング・モジュレーションの量は固定されており、レートはエフェクト1のノブでコントロールします。

CTRL PED（コントロール・ペダル）

[CTRL PED]ボタン([SHIFT] + エフェクト1セクター)を押すと、エフェクト1セクションのすべてのエフェクトを、コントロール・ペダル入力ジャックに接続したペダルでコントロールできるようになります。トレモロ・エフェクトとパン・エフェクトの場合、ペダルはエフェクトの量をコントロールします。これはパネルからはコントロールできません。

WAHとRMの場合、ペダルはエフェクト1の[RATE]ノブと同じ動きをします。つまり、WAHの場合はペダルが従来のワウ・ペダルとして機能し、RMエフェクトの場合はモジュレーション・レートをペダルでコントロールできます。

EFFECT2



EFFECT2には、フェイザーとコーラス各2種類、フランジャーとヴァイブ・エフェクト各1種類を含むモジュレーション・エフェクトが用意されています。どのエフェクトも、エフェクト2の **[RATE]** ノブでエフェクトの周期をコントロールします。

PHAS 1 & 2 (フェイザー)

[PHAS] (フェイザー) エフェクトは

いわゆるスイープ・サウンドが特徴

的で、エレクトリック・ピアノによく合うエフェクトです。Nord Grandのデジタル・フェイザーは、Bi-PhaseやSmall Stoneといったクラシック・フェイザーをベースにしています。

FLANG (フランジャー)

[FLANG] (フランジャー) は強烈なコム・フィルター効果を生み出すエフェクトで、サウンドに反響と「うねり」を加えます。

CHOR 1&2 (コーラス)

様々な用途に使用できる **[CHOR]** (コーラス) エフェクトは、モジュレーションをかけたオーディオ信号のコピーを複数ブレンドすることでサウンドに「広がり」を加えます。また、設定値を高くすれば強いデチューンをかけることもできます。コーラスは **[CHOR1]** と **[CHOR2]** の2種類あり、2つ目のエフェクトの方がはっきりとした効果を得られます。

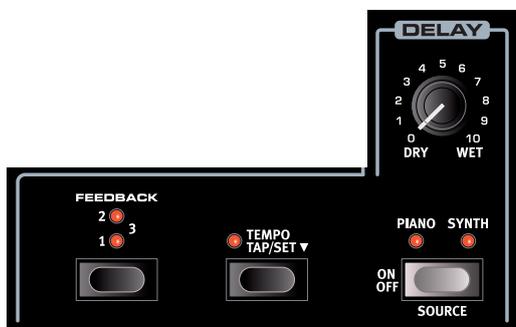
VIBE (ヴァイブ)

[VIBE] (ヴァイブ) エフェクトは伝統的なフット・ペダルのエフェクトからヒントを得たもので、ピッチバンドとフェイザーの両方をかけたようなサウンドになります。このエフェクトは、一般的なフェイザーとは異なる方法でフェイズ・フィルターを多段階に配列したものです。

DEEP

[DEEP] モード (**[SHIFT]** + エフェクト2セレクター) をオンにすると、エフェクト2のあらゆるエフェクトのモジュレーション量が増加します。

DELAY



ディレイは、リピート・エコーを作り出すエフェクトです。ディレイ・タイムを設定するには、**[TEMPO]** ボタンをタップするか、**[TEMPO]** ボタンを押しながら **[PROGRAM]** ダイアルを使用してテンポを設定します。

※ **[TEMPO]** ボタンを押しながらディレイの **[DRY WET]** コントロールを使えば、「片手で」素早くテンポの値を設定することもできます。

[FEEDBACK] ボタンでディレイを繰り返す量 (タップ) を設定します。最も低い値 (LED は点灯しない) に設定すると最初のタップだけが聴こえ、**1**、**2**、**3** に設定すると、数字が大きくなるほどフィードバック・テイルが長くなります。

[DRY WET] ノブで原音とディレイ音のバランスを調整します。

TEMPO TAP (テンポ・タップ)

[TAP] ボタンを使用して曲のテンポに合ったディレイ・タイムを設定することができます。テンポは BPM (1分あたりの拍数) の値とミリ秒の両方で表示されます。**[TAP]** を使うことで、ディレイ・タイムを曲のテンポに合わせて設定できます。曲に合わせて **[TEMPO]** ボタンを数回タップすると、あとは自動的にディレイ・タイムが調整されます。

※ テンポを設定するには少なくとも2回ボタンをタップする必要がありますが、必要な回数だけ繰り返しタップしてディレイ・タイムをさらに微調整することもできます。

EQUALIZER



トレブル、ミッド、ベースの3バンド・イコライザーです。

各バンドの周波数は**トレブル**が4kHz、**ミッド**は200Hz～8kHz、**ベース**は100Hzです。ミッド周波数は **[FREQ]** ノブを使用して設定できます。

どの帯域も、ブースト/カット量は±15dBです。

AMP/COMP



[AMP/COMP] ユニットには、高度なアンプ・シミュレーターとスピーカー・キャビネット・シミュレーター、多用途なチューブ・スタイルのオーバードライブ・エフェクト、便利なコンプレッサー・エフェクトがあります。ドライブやコンプの量は **[DRIVE/COMP]** ノブで調整できます。LED はオーバードライブがかかっているかどうかを示し、コンプレッサーが作動すると点灯します。

アンプ・モデル

3種類のアンプ/スピーカー・シミュレーションがあり、それぞれ次のような特徴があります。

SMALL: エレクトリック・ピアノに組み込まれたチューブ・アンプとスピーカーのシミュレーション

JC: クラシックなソリッドステート・アンプとスピーカー・キャビネットのシミュレーション

TWIN: クラシックなツイン・スピーカー・チューブ・アンプとキャビネットのシミュレーション

DIST (ディストーション)

[DIST] は、微妙なサチュレーションから鋭いディストーションまで幅広く使えるチューブ・スタイルのオーバードライブ・エフェクトです。

COMP (コンプレッサー)

[COMP] (コンプレッサー) はサウンドのダイナミック・レンジを圧縮することで、低いレベルの信号を持ち上げ、高いレベルの信号を下げます。これにより、タイトで迫力のあるサウンドになり、特にライブでのミックスがしやすくなります。

REVERB



REVERB は、様々な音響環境で発生する自然な残響音をシミュレートするエフェクトです。リバーブは、アクティブなすべてのサウンド・エンジンに常に適用される「グローバル」なエフェクトです。

[HALL] (ホール) リバーブは大ホールの音響特性をシミュレートしたもので、長い残響音が特徴です。**[STAGE]** (ステージ) リバーブはそれよりもやや短めの残響音、**[ROOM]** (ルーム) リバーブはそれよりもさらに残響音が短くなります。

[BRIGHT] モード ([SHIFT] + [REVERB] ボタン) では、リバーブ信号の高周波数部分がより多く残ります。

[DRY WET] ノブでリバーブ音と原音のバランスを調整します。

8 MIDI

MIDI 機能

Nord Grand は、外部音源などのハードウェアやソフトウェアをマスター・キーボードとしてコントロールできます。また、Nord Grand を独立したキーボードや MIDI 機器からコントロールすることもできます。

MIDI チャンネル

MIDI チャンネルを使用すると、MIDI 情報の送受信を同時に行えます。本機の内蔵音源を使用しているのと同様の感覚でキーボード演奏を行えるほか、キーボード、ペダル、パネル上の操作を別の MIDI 機器やシーケンサーに送信できます。

※ MIDI メッセージは USB 接続と MIDI 入力接続の両方で同時に送受信されます。

本機での演奏を MIDI シーケンサーや DAW にレコーディングする

ペダル操作やパラメーター調節を含め、本機での演奏を DAW や MIDI シーケンサーにレコーディングする方法を説明します。

- ① USB 経由で接続する場合は Nord Grand の USB MIDI ドライバーを使用するように、また、5 ピン MIDI コネクター経由で接続する場合は対応する MIDI インターフェイスを使用するように、DAW またはシーケンサーを設定します。
 - ② DAW またはシーケンサーに入力された MIDI 信号を、本機の MIDI チャンネルとして再ルーティングします。
 - ③ システム・メニューに入り、ローカルをオフにします。
 - ④ レコーディングで使用したい本機のプログラムを選択します。
 - ⑤ シーケンサーのレコーディングを開始します。
- ❶ パネル上のトランスポーズ機能またはシステム・メニューの「Global Transpose」設定でトランスポーズ値が設定されている場合、MIDI への効果は「Transpose MIDI at」の設定によって異なります（23 ページを参照）。

MIDI メッセージ

Nord Grand では、次の MIDI メッセージを送受信できます。

ノート・オン/オフ

- ベロシティを含むノート・オンおよびノート・オフ・メッセージの送受信を行います。

コントローラー

- コントロール・チェンジ・メッセージの送受信設定は、システム・メニューで行います。
- コントロール/エクスペッション・ペダルをコントロール・ペダル・インプットに接続している場合、コントローラー 11 (CC11: エクスペッション) の送受信を行います。

- サスティン・ペダルをサスティン・ペダル・インプットに接続している場合、コントローラー 64 (CC64: サスティン・ペダル) の送受信を行います。
- 本機のフロント・パネル上にあるほとんどのノブやボタンもコントロール・チェンジ・メッセージとして送受信でき、パネル上の操作をシーケンサーにレコーディングすることができます。MIDI コントロール・チェンジ・メッセージの一覧は、25 ページをご参照ください。

プログラム・チェンジ

プログラム、ライブ・プログラム、ピアノ、またはサンプルをロードすると、グローバル MIDI チャンネルにプログラム・チェンジ・メッセージが送信されます。このとき、各コンテンツの種類は Bank MSB の値で識別されます。反対に、プログラム・チェンジ・メッセージを受信した場合は、Nord Grand 上の対応するコンテンツが選択されます。このメッセージは以下の表に示す 3 つの部分で構成されています。

	プログラム	ピアノ	サンプル	ライブ
Bank MSB (CC# 0)	0	3	4	6
Bank LSB (CC# 32)	0 ~ 15	0 ~ 5	0 ~ X	0 ~ 1
プログラム・チェンジ	0 ~ 24	0 ~ X	0 ~ 49	0 ~ 3

X の値は、メモリー内のピアノまたはサンプルの数によって異なります。

- ❶ Nord Grand に届いたプログラム・チェンジ・メッセージにバンク・セレクト・メッセージが含まれていない場合、そのメッセージは現在選択されているプログラムまたはライブ・プログラムに適用されます。

プログラム・チェンジ・メッセージをグローバル・チャンネルで送受信するかどうかは、システム・メニューで設定できます。詳しくは 22 ページをご参照ください。

ローカル・コントロールのオン/オフ

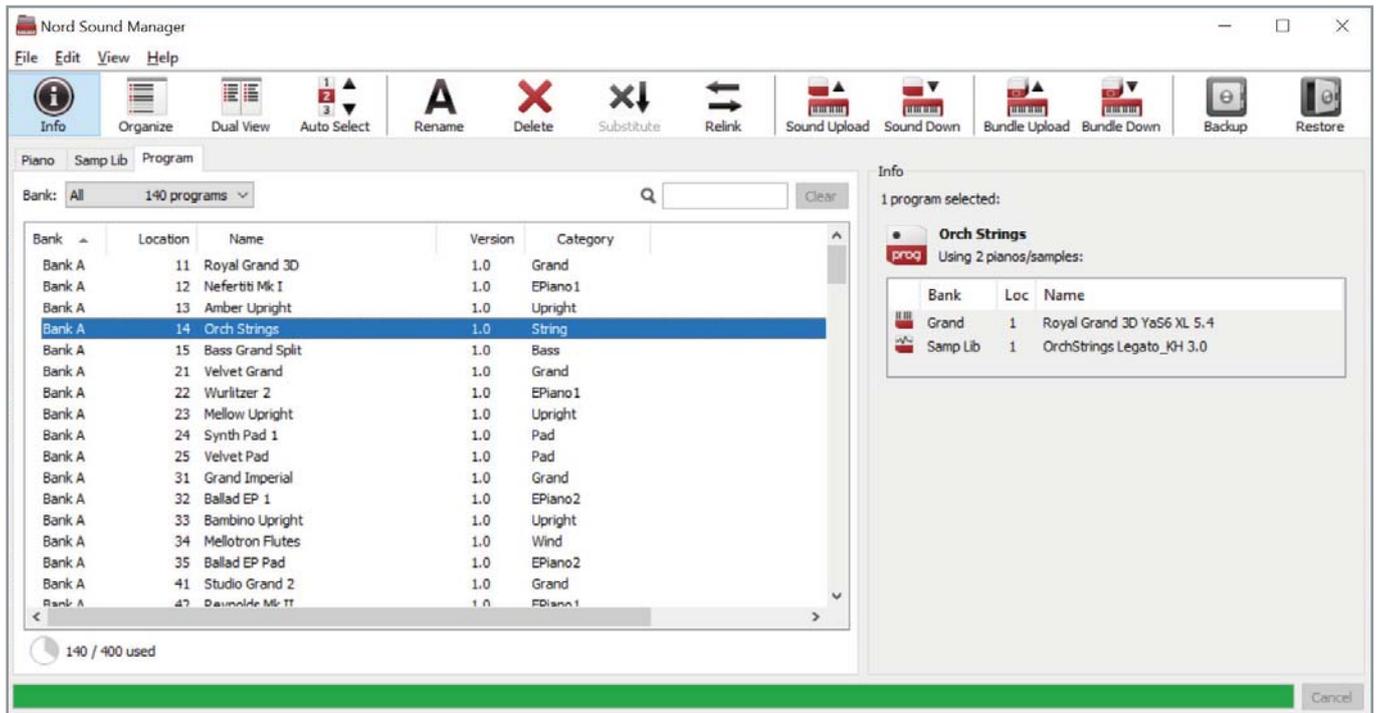
ローカル・コントロールをオフに設定した場合、Nord Grand のキーボードとパネルはサウンド・エンジンから「切り離されます」。オフ設定は、インストゥルメントを MIDI ループに設定する場合（例えば、DAW やシーケンサーと一緒に使用する場合）に使用します。ローカル・コントロールのオン/オフ設定はシステム・メニューで行います（22 ページをご参照ください）。

PANIC



MIDI のセッティングを行っているときに本機の音が止まらなくなってしまった場合、または何らかの理由ですべてのサウンドを止める必要がある場合には、**[PANIC]** ([SHIFT] + [PROGRAM 5]) 機能を使用します。これは、内部的に「オール・ノート・オフ」メッセージを発生させ、そのとき入力されているコントロール・チェンジ・メッセージをリセットする機能です。

9 NORD SOUND MANAGER



NORD SOUND MANAGER について

Nord Sound Manager は Nord 製品のユーザーにとって非常に重要なアプリケーションです。Nord Sound Manager を使用することで、Nord Grand の様々なメモリー・エリア内のコンテンツの並べ替え、変更、バックアップなどを実行できます。Nord Sound Manager では主に次のようなタスクを実行します。

- ・プログラムに名前を付ける/並べ替える
- ・ピアノ・パーティションに新しいピアノ・サウンドをダウンロードする
- ・サンプル・パーティションに新しいサンプルをダウンロードする
- ・Nord Grandからコンピュータにプログラムをアップロードする
- ・プログラムおよび関連付けられたピアノ・ファイルとサンプル・ファイルを含むバンドルをアップロードする
- ・インストールメント全体のバックアップを実行する
- ・インストールメント全体を以前の状態に戻す

Nord Sound Manager およびこのアプリケーションのユーザー・マニュアルは、Nord ウェブサイト (www.nordkeyboards.jp) の「Software」ページからダウンロードできます。

動作環境

Mac OS X 10.6 以降
64 ビット版 Windows 7、Windows 8、Windows 10

Windows でご利用の場合は、Nord USB Driver バージョン v3.0 以降をインストールする必要があります。

10 メニュー

システム・メニュー、サウンド・メニュー、MIDI メニューで行った設定はその場で有効になり、次に変更するまで維持されます。

- ❶ 例外として、ローカル・コントロール MIDI 設定だけは Nord Grand を起動するたびに「オン」の状態に戻ります。

各メニューを開くには、**[SHIFT]** を押しながら **[SYSTEM]**、**[SOUND]**、または **[MIDI]** ([PROGRAM] ボタンの [1]、[2]、[3]) を押します。メニューの切り替えはディスプレイ上の **[◀]** ボタンと **[▶]** ボタンで行い、設定を変更するには **[PROGRAM]** ダイアルを回します。その他の設定がある場合にもディスプレイ上のボタンを使用して表示できます。メニューを終了するには **[EXIT]** ([SHIFT]) ボタンを押します。

SYSTEM MENU

1 - MEMORY PROTECT

プログラムが誤って上書きされないように、Nord Grand の出荷時にはメモリー・プロテクトがオンに設定されています。メモリー・プロテクトをオフに設定すると、保存操作が可能になります。メニュー設定とライブ・プログラムはこの設定の影響を受けません。

レンジ：On (デフォルト値)、Off

2 - NUMPAD PROGRAM SELECT

プログラムは 2 つの方法で選択できます。デフォルトでは、標準の「ページ・ベース」モードが使用されますが、「数字パッド」の入力で選択することもできます。[NUMPAD PROGRAM SELECT] をオンにすると、[PROGRAM] ボタンの [1] ~ [5] から 2 つのボタンを使用して数字を入力することで、現在のバンク内の 25 個すべてのプログラム (11 ~ 55) にアクセスできます。[NUMPAD PROGRAM SELECT] をオフにすると、[PROGRAM] ボタンの [1] ~ [5] が現在のページ内の 5 つのプログラムに対応します。

レンジ：Off (デフォルト値)、On

3 - GLOBAL TRANSPOSE

この設定では Nord Grand 全体のトランスポーズを半音単位でセットします。ここで設定した値は、プログラムごとに設定、保存できるパネル上で設定したトランスポーズ値に加算されます。

レンジ：± 6 半音 (デフォルト値 = 「none」)

4 - FINE TUNE

Nord Grand のピッチを細かい精度でチューニングします。

レンジ：± 50 セント (デフォルト値 = 0)

5 - OUTPUT ROUTING MODE

[Stereo] モードでは、すべてのサウンドが両方のオーディオ出力に送信されます。[Piano:L Synth:R] に設定すると、ピアノ・サウンドが左の出力に、サンプル・シンセ・サウンドが右の出力に送られます。

レンジ：Stereo (デフォルト値)、L : Piano R : Synth

6 - SUSTAIN PEDAL TYPE

[SUSTAIN PEDAL] ジャックに接続されたペダルの種類を選択します。サスティン・ペダルには極性があり、ペダルと本機の極性が合っていないとペダルを踏んでいないときにサスティンがかかってしまい、踏んだときにサスティンが止まります。このような場合、このパラメーターで極性を反転させます。[Auto] の場合は、本機が接続されたペダルのタイプを自動的に検出します。

レンジ：Triple、Open、Closed、Auto (デフォルト値)

7 - CONTROL PEDAL

TYPE

Nord Grand は多くのブランドのコントロール・ペダルを **[CONTROL PEDAL]** インプットに接続できます。コントロール・ペダルを使用する際、このパラメーターで主な各ペダルの特性に合わせます。

- ☞ 接続したペダルをこのメニューで使用している場合、接続したペダルのレンジを示すパーセンテージがディスプレイに表示されます。

レンジ：Roland EV7 (デフォルト値)、Yamaha FC7、Korg、Fatar/Studiologic

GAIN

[CONTROL PEDAL] インプットに接続したペダルを完全に踏み込んだ状態でも、コントロールするパラメーターの最大値や最大設定に達しない場合、この設定でペダル信号をアップさせることができます。

レンジ：1 ~ 10

8 - VERSION AND MODEL INFO

バージョンとモデル情報のメニューページには、現在インストールされている OS (オペレーティング・システム) の完全なバージョン番号と、本機のハードウェア情報が表示されます。

[PROGRAM] ダイアルを使用してバージョン情報とモデル情報を切り替えます。

SOUND MENU

1 - PIANO PEDAL NOISE LEVEL

ダイナミック・ペダル・ノイズ機能のレベルを設定します。この機能は、Nord Grand に Nord Triple Pedal が接続されている場合に、対応するピアノでオンにできます。

レンジ：± 6dB (デフォルト値 = 0dB)

2 - PIANO STRING RES LEVEL

ストリング・レゾナンス機能をオンにした場合の、ストリング・レゾナンスのレベルを設定します (アコースティック・ピアノ・モデルのミディアム、ラージ、エクストラ・ラージ・サイズでのみ使用可能)。

レンジ：± 6dB (デフォルト値 = 0dB)

MIDI MENU

1 - LOCAL CONTROL

Nord Grand の鍵盤とパネルで内部サウンド・エンジンとプログラムを制御するか、または MIDI 信号のみを送信するか（ローカル・コントロール）の設定をします。ローカル・コントロール・オンが通常モードです。ローカル・コントロール・オフの場合は、フロント・パネルとキーボードは MIDI 信号のみを送信します。

レンジ：On（デフォルト値）、Off

- ❶ このパラメーターの設定は本機の電源投入時に必ず「On」になります。

2 - MIDI CHANNEL

Nord Grand の送受信 MIDI チャンネルをこのパラメーターで設定します。この MIDI チャンネルは、すべてのキーボード、ペダル、パネル上の操作を MIDI 信号として送信するチャンネルです。また、本機全体を MIDI でコントロールするときもこのチャンネルを使用します。

レンジ：1～16、Off（デフォルト値 = 1）

3 - MIDI CONTROL/PROGRAM CHANGE

MIDI CONTROL CHANGE

MIDI コントローラー・メッセージを、MIDI チャンネルで送受信するかどうかを設定します。

レンジ：Off、Send、Receive、Send & Receive（デフォルト値）

MIDI PROGRAM CHANGE

MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを、MIDI チャンネルで送受信するかどうかを設定します。

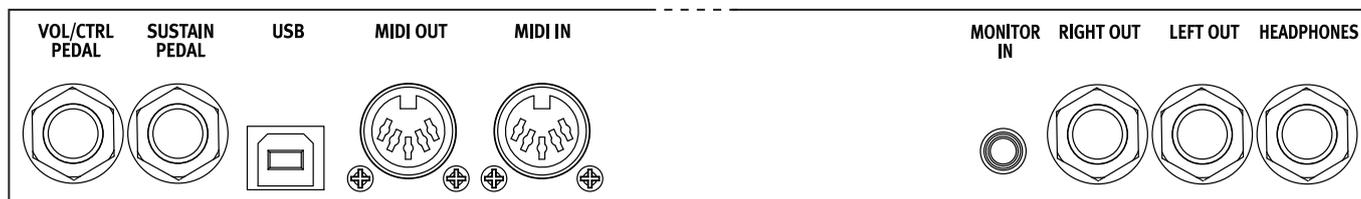
レンジ：Off、Send、Receive、Send & Receive（デフォルト値）

4 - TRANSPOSE MIDI AT

[In] に設定すると、アクティブなトランスポーズ値（グローバル/プログラムごと設定）が受信される MIDI データにのみ適用され、送信される MIDI には適用されません。[Out] モードでは、送信される MIDI ノートのみがトランスポーズされ、受信する MIDI ノートはトランスポーズされません。

レンジ：In（デフォルト値）、Out

11 接続について



オーディオの接続

オーディオ接続について：すべての接続が済んでからアンプの電源を入れてください。アンプの電源は必ず最後に入れ、電源を切るときは必ず最初にアンプまたはアクティブなスピーカーの電源を切ってください。

⚠ Nord Grandを大音量で使用すると、聴覚を損なう恐れがあります。

HEADPHONES

ステレオの標準フォンジャックです。アウトプット・ルーティングの設定に関係なく、オーディオは常にヘッドフォン・アウトプットから出力されます。

LEFT OUT、RIGHT OUT

モノラルの標準フォンジャックで、アンプやレコーディング機器に接続します。Nord Grandは、左右のオーディオ・チャンネルに個別の信号を出力するステレオ・インストゥルメントです。

出荷時には、左右のアウトプットからオーディオを出力するように構成されています。その他の設定については、22ページのシステム・メニューのセクションをご参照ください。

MONITOR IN

スマートフォン、タブレット、コンピュータなどのデバイスを Nord Grandに接続するためのミニ・ステレオ・フォン・ジャックです。事前に録音した音楽やメトロノームに合わせて演奏やリハーサルを行ったリ、ステージ上で追加のサウンド・ソースを使用したりする場合に便利です。モニター・インで入力された信号は、ヘッドフォン・アウトプットと左右のアウトプットにルーティングされます。

⚠ Nord Grandのマスター・レベル・コントロールは、モニター・イン信号のレベルには影響しません。

MIDIの接続

MIDI IN

コントローラー・キーボード、シーケンサー、コンピュータなどの外部MIDI機器から送信されたMIDIデータを受信するための5ピンMIDIイン接続です。

MIDI OUT

外部のMIDI音源モジュールやコンピュータなどのデバイスにMIDIデータを送信する5ピンMIDIアウト接続です。

USB接続

USBポートはNord Grandをコンピュータに接続する際に使用します。MIDI送信やOSアップデートのほか、Nord Sound ManagerやNord Sample Editorといったアプリケーションの接続に使用できます。これらのアプリケーションと最新のOSは、Nordウェブサイト (www.nordkeyboards.jp) からいつでもダウンロードできます。

❗ USB MIDIと標準の5ピンMIDIコネクタは常に同時に使用できません。

ペダル接続

SUSTAIN PEDAL

標準フォンタイプのコネクタでスイッチタイプのサステイン・ペダルを接続します。付属のNord Triple Pedalの接続にも使用します。サステイン・ペダルの極性は自動的に検出することも、システム・メニューで手動で設定することもできます (22ページを参照)。

VOL/CTRL PEDAL

ピアノやサンプル・シンセのボリューム、エフェクト1の量などのコントロールに使用する、コンティニューアス・タイプのエクスプレッション・ペダルを接続するためのステレオ・フォンタイプのコネクタです。一般的なエクスプレッション・ペダルのほとんどのメーカーとモデルに対応しています。使用するエクスプレッション・ペダルはシステム・メニューで選択できます (22ページを参照)。

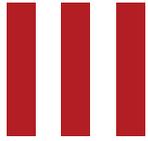
NORD PIANO MONITOR

Nord Grandには、ピアノ・サウンドの忠実な再現に特化して設計されたNord Piano Monitorスピーカー用のブラケットを取り付けることができます。Nord Piano Monitorシステムと、Nord Grandへの取り付け方法に関する詳細は、Nordウェブサイト (www.nordkeyboards.jp) をご参照ください。

付録：MIDI コントローラー・リスト

パラメーター	MIDI CCナンバー
Bank Select MSB Program	0
Bank Select MSB Live	6
Bank Select MSB Piano	3
Bank Select MSB Sample	4
Bank Select LSB	32
Volume	7
Pan	10
Sustain	64
Soft Pedal	67
Sostenuto	66
Ctrl Pedal (Expression)	11
KBD Split	3
Piano Enable	33
Piano Level	34
Piano Octave Shift	35
Piano Sustain Pedal	49
Piano Volume Pedal	50
Piano Timbre	40
Piano Acoustics	52
Piano KBD Touch	51
Piano Pedal Noise	53
Sample Synth Enable	42
Sample Synth Level	43
Sample Synth Octave Shift	44
Sample Synth Sustain Pedal	45
Sample Synth Volume Pedal	46
Sample Synth Attack	68
Sample Synth Decay/Release	69
Sample Synth Amp	72
Sample Synth Filter	73
Effects 1 Enable	82
Effects 1 Type	83
Effects 1 Source	84
Effects 1 Ctrl Ped	85
Effects 1 Rate	86

パラメーター	MIDI CCナンバー
Effects 2 Type	87
Effects 2 Source	88
Effects 2 Deep	89
Effects 2 Rate	90
Effects 2 Enable	91
Delay Source	92
Delay Dry/Wet	93
Delay Rate	94
Delay Feedback	95
Delay Enable	97
Amp/Comp Type	100
Amp/Comp Drive	117
Amp/Comp Enable	118
Amp/Comp Source	119
EQ Bass	102
EQ Mid	103
EQ Treble	104
EQ Enable	105
EQ Source	106
EQ Mid Frequency	107
Reverb Enable	116
Reverb Type	115
Reverb Dry/Wet	113
Reverb Bright	112



索引

記号・英数字

[PROGRAM] ダイアル 15
 Amp (サンプル・シンセ) 13
 Attack (サンプル・シンセ) 13
 Bass (イコライザー) 18
 CC (MIDI メニュー) 23
 Clav EQ (クラビネット EQ) 12
 Clav/Hps (ピアノ・タイプ) 11
 Decay/Release (サンプル・シンセ) 13
 DELAY 18
 Dyno 1 12
 Dyno 2 12
 EFFECT1 17
 EFFECT2 18
 Exit (ボタン) 15
 Filter (サンプル・シンセ) 13
 Fine Tune 22Gain (Ctrl Pedal) 22
 Global Transpose 22Heavy (KBD Touch) 11
 KBD SPLIT 14
 KBD Touch 11
 LEFT OUT、RIGHT OUT 24
 Light (KBD Touch) 11
 LIVE MODE 15
 MIDI 20
 MIDI LED インジケーター 16
 MIDI アウト 24
 MIDI イン 24
 MIDI コントローラー・リスト 25
 MIDI メッセージ 20
 Mid (イコライザー) 18
 Misc (ピアノ・タイプ) 11
 Nord Piano Library 10
 Nord Sound Manager 21
 Nord Triple Pedal 11
 Normal (KBD Touch) 11
 OS (オペレーティング・システム) 5, 22
 PANEL LOCK 16
 PIANO SELECT 10
 Piano String Res Level 22
 SHIFT (ボタン) 15
 Sound Menu 22
 Sustain (サンプル・シンセ) 13
 Timbre 12
 Transpose MIDI At (MIDI メニュー) 23
 Treble (イコライザー) 18
 Trem (トレモロ) 17
 Triple Pedal 11
 Type (Ctrl Pedal) 22
 USB 接続 24
 VOL/CTRL PEDAL 24
 Wah (ワウ) 17
 www.nordkeyboards.com 5
 www.nordkeyboards.jp 5

ア行

アイボリータッチ 5
 アウトプット・ルーティング 22
 アップライト (ピアノ・タイプ) 11
 アンブ・モデル 18

移動 (並べ替え) 16
 ヴァイブ 18
 エフェクト・セクション 17
 エレクトリック (ピアノ・タイプ) 11
 オーディオ接続 24

カ行

カテゴリー (サンプル・シンセ) 13
 クラビネット 11
 グランド (ピアノ・タイプ) 11
 コーラス 1&2 18
 コンプレッサー 19

サ行

サスティン・ペダル 22
 数字パッド (プログラム選択モード) 15
 ストリング・レゾナンス 11
 スプリット・ポジション 14
 スワップ (並べ替え) 16
 接続 24
 ソステヌート 12
 ソフト・ペダル (ウナ・コルダ) 12
 ソフト・リリース 11

タ行

タイプ (ピアノ) 10
 タップ・テンポ (ディレイ) 18
 ディスプレイ上のボタン 7, 22
 デジタル (ピアノ・タイプ) 11
 トランスポーズ 15

ナ行

名前を付けて保存 15
 並べ替え 16

ハ行

バージョンとモデル情報 22
 ハーフ・ペダリング 11
 パニック 16, 20
 パネル・ロック 9
 ピアノ 10
 ピアノ・インフォ 10
 ピアノ・サイズ 10
 ピアノ・セレクト・ダイアル 11
 ピアノ・セレクト・ボタン 10
 ファクトリー・プリセット 5
 フェイザー 1&2 18
 フランジャー 18
 プログラム 15
 プログラム・チェンジ 20
 [PROGRAM] (ボタン) 15
 ペダル・ノイズ 11
 ヘッドフォン 24

マ行

メニュー 22
 メモリー・プロテクト 22
 モデル (ピアノ) 10
 モニター・イン 24
 モノ 14

ラ行

リスト・ビュー (ピアノ) 11
 リバーブ 18
 ローカル・コントロール (MIDI) 20, 23

仕様：NORD GRAND

概要

- 有機ELディスプレイ (OLED)
- シームレス・トランジション
- クロスフェードできるスプリットポイント
- 25プログラム16バンク 合計400ロケーション
- オーガナイズモード
- ライブモード - ライブ用5プログラム
- 全体のトランスポーズ: +/- 6 半音
- プログラム毎のトランスポーズ: +/- 6 半音
- ファインチューン: +/- 50 Cents
- キーボード・タッチ: 3つのペロシティーカーブ
- 88鍵 グランドハンマー鍵盤 (3点センサー)
- スプリット機能: 選択可のスプリットポイント、LED付
- スプリットポイント周辺でクロスフェード可能
- レイヤー機能
- パネルロック機能
- モノラル・アウトプット
- サステインペダル: Nord Triple Pedalも使用可
- USB-MIDI機能
- フリーOSアップデート

PIANO セクション

- 6タイプ - グランド、アップライト、エレクトリックピアノ、クラビネット、デジタル、その他
- それぞれのカテゴリに20モデル以上
- 同時発音数120音 (stereo/mono pianos)
- Pianoティンバー / EQセッティング (Soft, Mid, Bright)、エレクトリック・ピアノ・フィルター (Soft, Mid, Bright, Dyno 1 and Dyno 2)
- アドバンスド・ストリング・レゾナンス (第2世代) - 量は調節可
- ソフト・リリース (グランド、アップライト、エレクトリック・ピアノ、ハーブシコード)
- ペダル・ノイズ (グランド、エレクトリックピアノ1) - 量は調節可
- オクターブ・トランスポーズ: -1/+1 (スプリットポジションによっては -6/+6)

SAMPLE SYNTH セクション

- 同時発音数46音
- Ampエンベロープ (Attack, Decay/Release)
- ローパスフィルター、ダイナミックレンジ (ペロシティーシティブ)
- オクターブ・トランスポーズ: -1/+1 (スプリットポジションによっては -6/+6)
- ボリュームペダル (別売) でボリュームコントロール可

メモリー

- Nord Piano Library用 2GB
- Nord Sample Library用 512 MB

エフェクトセクション

Effect 1

- Pan, Tremolo, Wah, Ring Modulator

- 3段階のデプス (Pan, Tremolo)、レートはEffect 1 Rateノブでコントロール可
- Tremolo, Pan, Ring-Mod, Wahはフットコントローラーでコントロール可

Effect 2

- Phaser 1, Phaser 2, Flanger, Chorus 1, Chorus 2 and Vibe
- 2段階のデプス

Amp Simulations, Comp and EQ

- Comp/Amp - 3タイプのアンプ/スピーカーシミュレーション、チューブオーバードライブ
- DriveノブでDrive/Compressionアメントをコントロール可
- 3バンド EQ (MIDはスィープ可 +/- 15 dB)

Master Effects

- リバープ (Room, Stage, Hall、いずれもブライモードあり)
- デイレイ (Rate, Amount, Tap-tempo機能)

端子

- アウトプット端子 L & R - 標準フォーン端子: アンバランスド
- モニターインプット - ミニフォーン端子
- ヘッドフォン端子 - 標準ステレオフォーン端子
- ピアノペダル端子 - 標準フォーン端子: Nord Triple Pedal、またはフットスイッチ (Roland DP-2, DP-6, Yamaha FC-4A, FC-5, Fatar VFP1-25 など)
- ボリュームペダル端子 - 標準ステレオフォーン端子: フットコントローラー (Yamaha FC-7, Roland EV-5 など)
- MIDI端子 (MIDI In, MIDI Out) - 5ピンDIN端子
- USB (type B) 端子 - 音色流し込み、およびUSB-MIDI接続
- 電源コネクタ

寸法

- Nord Grand: 1286 mm(W), 168 mm(D), 387 mm(H)
- Nord Triple Pedal: 264 mm(W), 224 mm(D), 70 mm(H)

重量

- Nord Grand: 20.9 kg
- Pedal: 2 kg

オプション

- Nord Piano Monitor
- Nord Keyboard Stand V2
- Nord Soft Case
- Nord Music Stand

仕様は予告なしに変更される場合があります。

本書に記載のブランド名、製品名はすべて各所有者の商標または登録商標であり、Clavia社とは一切の関係はありません。また、これらの製品名、ブランド名は本機の性能やサウンドを説明するためにのみ使用しています。

